

B5自己評価総括表(公表分)

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	よい子のお家ききょうジャンプ		
○保護者評価実施期間	R 7年1 2月 1日		～ R 7年1 2月2 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R 7年1 2月 1日		～ R 7年1 2月2 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 1月2 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訓練室がワンプレーンで見守りに適しているため、怪我やトラブルを未然に防げるように職員を配置している	大きな活動を行う部屋と静かに読書を行える部屋をセパレートし、クールダウンが必要な場合の別室も設けており、それぞれ場面場面に沿った使い分けを行っている	片付けと、環境提供を両立し、必要なものはその場面に応じて提供をして行き乱雑な物品が存在する事により児童の行動が制限されることが無いように心がけている
2	保護者からの信頼と情報共有を心がける	日常的な情報のやり取りや、事業所内での児童活動内容を詳細に伝えるとともに、児童の成長した姿をその時々に応じた形で発信している	ペアレントトレーニングの分野に注力していきたい
3	丁寧なアセスメント面談における説明を行い、保護者と共に作成して行く個別支援計画を目指すと共に、5領域を意識した支援となるよう留意している	保護者と共に作っていく姿勢が重要であり、決して事業所のひとりよがりにならない事が大切と考えている	5領域に沿った支援計画ではなく、今とこれからの児童の成長に必要な事項が5療育のどの部分に当てはまるかを見定めて行き、常に分析評価の姿勢を崩してはならない

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携を進めるに当たり、どのような手段が適切なのかを把握しきれていないのが現状である	今行っている、職員個人の地域参加をもう一歩進め、まずは事業所としての参加から手掛け、児童の連携参加にも進める事を目標としたい	どんな行事があるのかを見定める必要があり、どのような形の参加が適切であるかを決定していく事から始めたい
2	保護者会の充実を図りたいが、マンネリ化と情報発信の弱さが混在し、保護者が本当に参加したいと思うような企画を目指したい	参加人数が少ないのがネックではあるが、開催すれば保護者同士の和気藹々感も深まっているのが現状である。保護者へのアピールと共感を大切にして発信して行きたい	保護者へのアンケートを行い、タイミングや内容を詰めていきたい
3	H P 内容の充実	開かれて施設運営、統制されたガバナンス、法令遵守を基本として、保護者のみならず第三者にも目にしていだける内容とした	H P 作成プロジェクトチームを発足させ、ビジュアル的にも視線が集まる内容とした